

第4章 夏休みの過ごし方

1 夏休みの過ごし方

「学習塾や習い事」が7割強だが、旅行や親族訪問、部活動など、多くの活動が減少している。

コロナ禍における令和3年の夏休みに、子どもたちはどのように過ごしているかを見てみる。H29年の調査に比べて、「映画館、カラオケ、ゲームセンター」「宿泊旅行」「日帰り旅行」「友人の家」「おじいちゃん・おばあちゃんの家」で「よく過ごした」「たまに過ごした」と回答した児童・生徒の割合が、いずれも著しく減少している。「小学生：学童クラブ、放課後子ども教室、中学生：学校の部活動」「小学生：学校のサマースクール、中学生：学校の補充教室・自習教室」「地域の子ども会活動やスポーツ活動」「図書館やひろば館など公共の施設」の利用や参加も減少している。一方、「学習塾や習い事」「スーパーやコンビニ」「外に出てぶらぶらしている」「自分の家」の割合があまり変わらなかった。

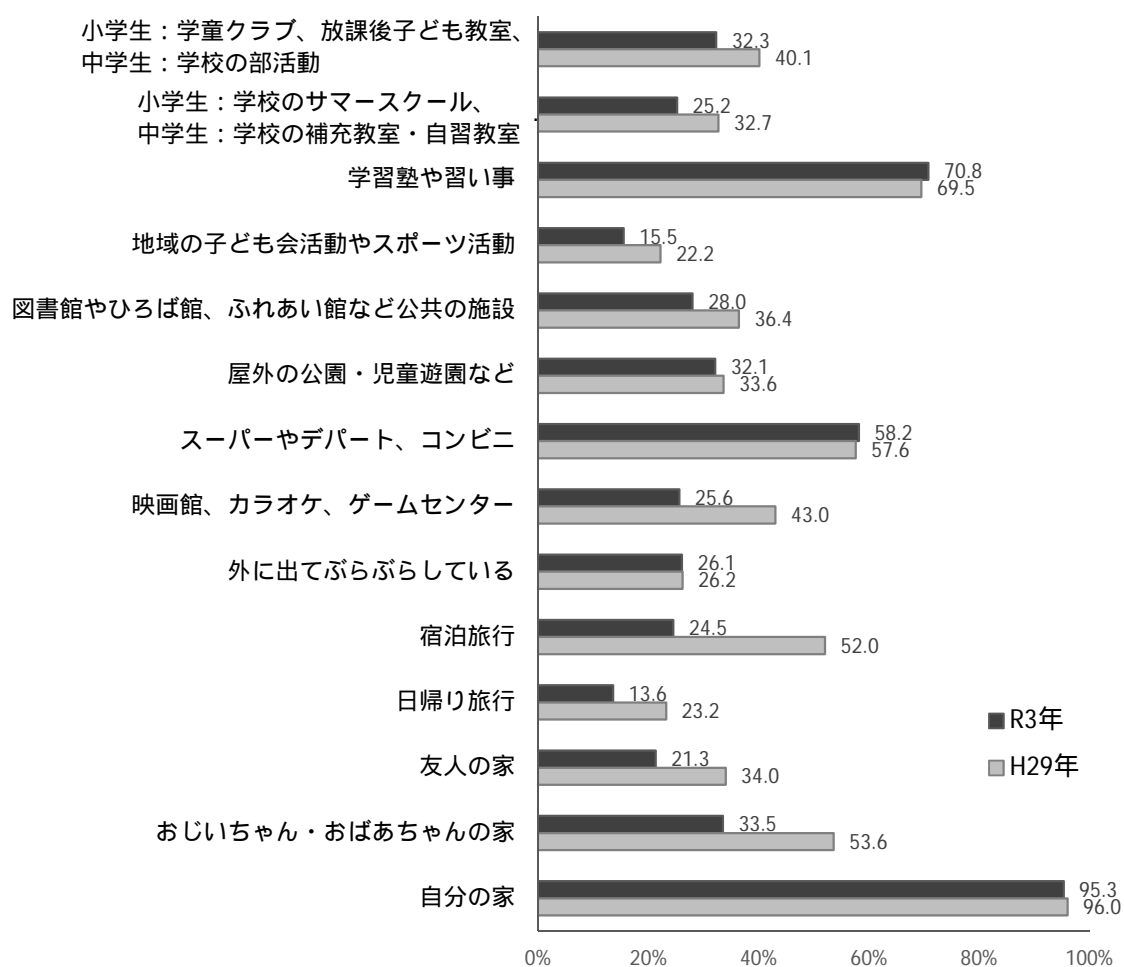


図 4-1 [児童・生徒]今年の夏休みの過ごし方(「よく過ごした」「たまに過ごした」と回答した割合)

また、「小学生：学童クラブ、放課後子ども教室、中学生：学校の部活動」について、学年別に見てみると、「よく過ごした」と回答した割合が、小5で6.5%、小6で3.7%と低くなっている。中1と中2ではそれぞれ49.4%と48.0%となっているのに対し、中3では15.9%にとどまっている（図4-2）。

「学習塾や習い事」については、「よく過ごした」と回答した割合が、中3で66.9%と最も高くなっており、次いで小5の54.8%と小6の53.0%である。中1で38.2%と最も低くなっている（図4-3）。

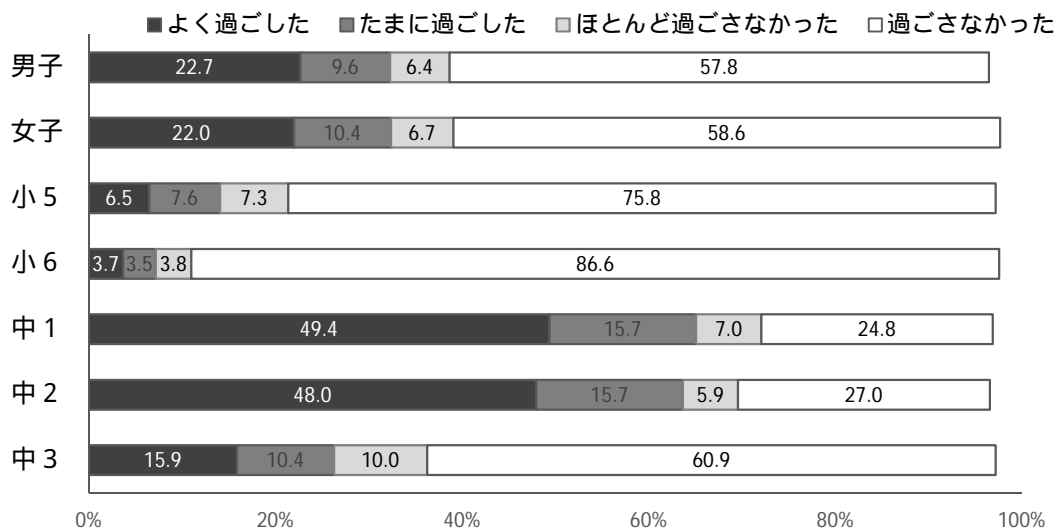


図4-2 [児童・生徒]この夏休みの過ごし方：小学生：学童クラブ、放課後子ども教室、中学生：学校の部活動

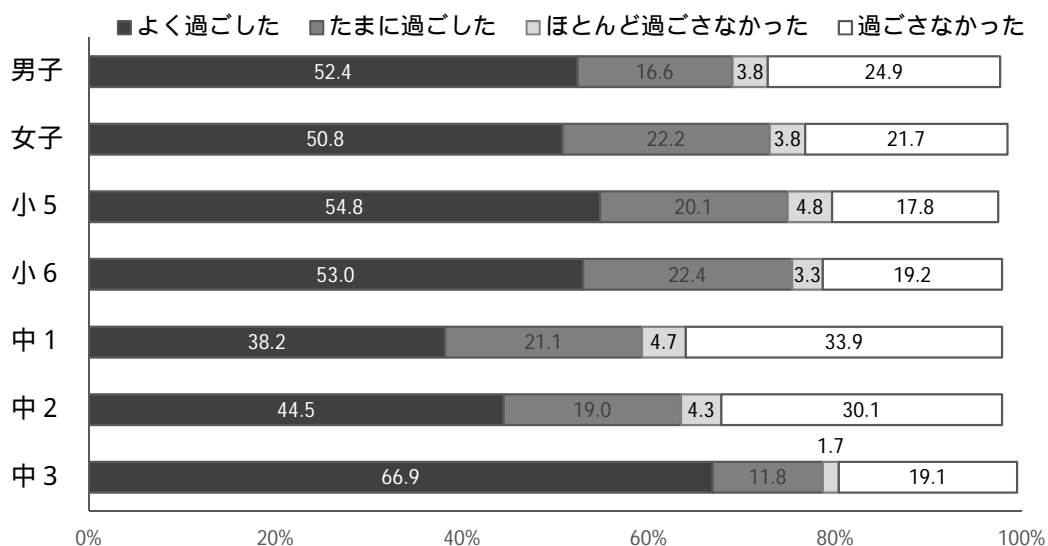


図4-3 [児童・生徒]この夏休みの過ごし方：学習塾や習い事

2 夏休み中の自然体験

野外活動や植物や昆虫などの観察活動の未体験率がいずれも6割を超えている。

今回の調査で、追加質問として、夏休み中の自然体験についてたずねた。キャンプ、山登りやハイキングなどの野外活動をしたことが「全くない」と回答した児童・生徒の割合が73.8%となっている。特に女子では未体験率が77.6%と、男子の70.2%より高くなっている（図4-4）。

また、身近な緑地などで植物や動物・昆虫を観察したことが「全くない」と回答した割合が60.7%となっており、「1回か数回程度」が24.9%で、「週に1、2回程度」「週に3回以上」と回答した割合が12.7%となっている（図4-5）。

学年別に見ると、野外活動と植物や昆虫などの観察活動とも学年が上がるにつれて、未体験率が高くなっていく。

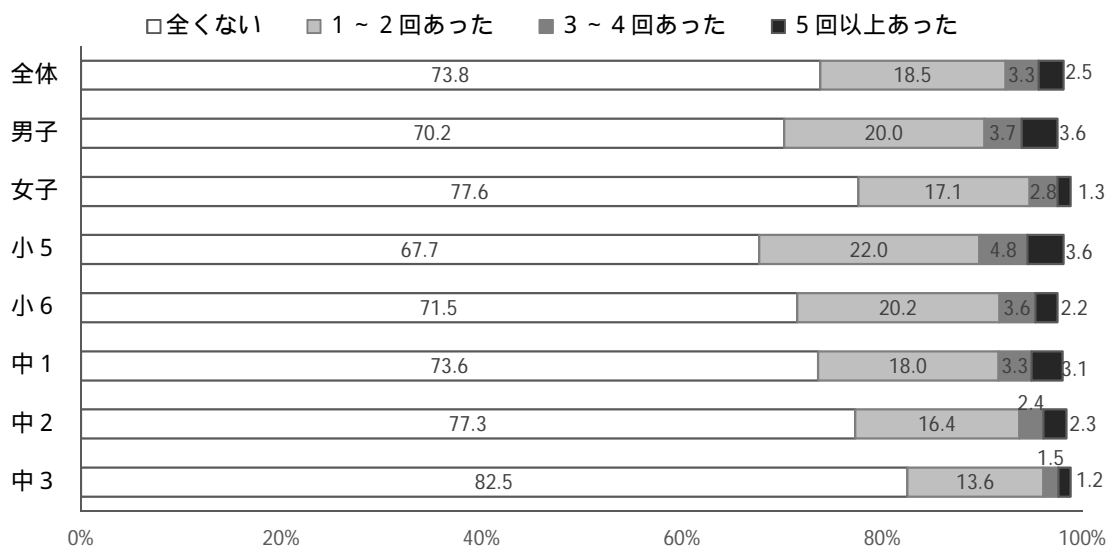


図4-4 [児童・生徒]この夏休み、キャンプ、山登りやハイキングなどの野外活動をしたこと(R3年)

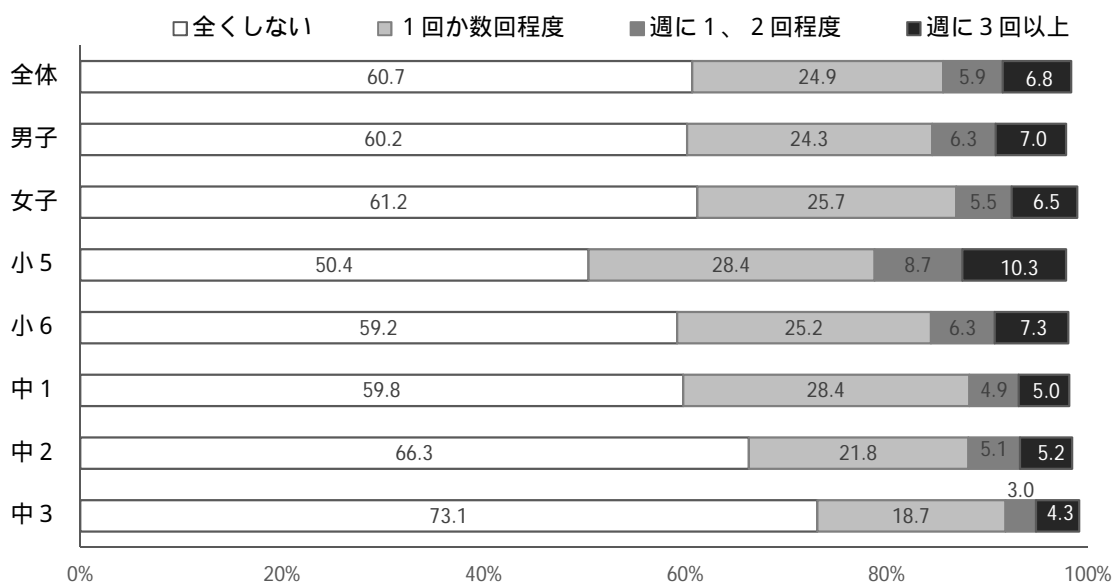


図4-5 [児童・生徒]この夏休み、身近な緑地などで植物や、動物・昆虫を観察したこと(R3年)

3 夏休みの心身の状態

約 8 割の児童・生徒が楽しい気分やリラックスした気分での夏休みを過ごした。

今回の調査で夏休みの心身の状態についても追加してたずねた。「明るく、楽しい気分でも過ごした」について、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」と回答した児童・生徒の割合が 81.4% となっている。男子と女子を比較すると、「いつもそうだった」と回答した割合は、男子のほうが高くなっている。学年別に見ると、学年があがるにつれて、「いつもそうだった」の割合が低くなっていく（図 4-6）。

「落ち着いたリラックスした気分でも過ごした」については、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」と回答した児童・生徒の割合が 76.9% となっている。男女別では、男子のほうがやや高くなっており、学年別では、小学生より、中学生のほうが高くなっている（図 4-7）。

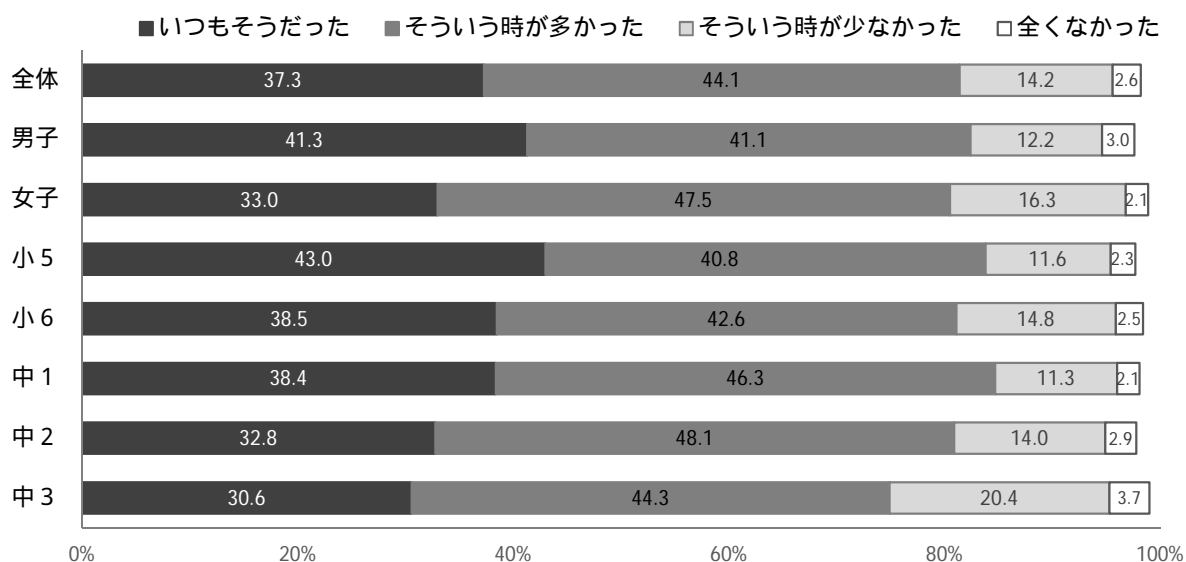


図 4-6 [児童・生徒]この夏休み、明るく、楽しい気分でも過ごした

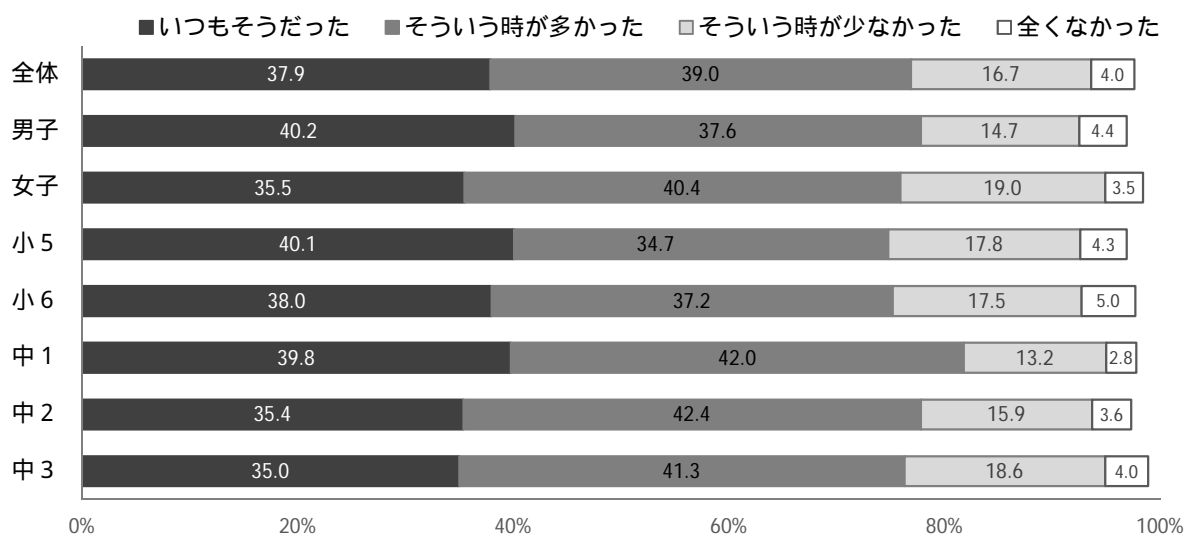


図 4-7 [児童・生徒]この夏休み、落ち着いたリラックスした気分でも過ごした

「意欲的で活動的に過ごした」については、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」と回答した児童・生徒の割合が58.2%にとどまっている。「全くなかった」と「そういう時が少なかった」を合わせると38.5%となっている。また、男子と女子の比較では、男子のほうが高くなっている。学年別に見ると、「いつもそうだった」と回答した割合が、中1で28.9%と最も高くなっている（図4-8）。

「ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた」については、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」と回答した割合が68.6%となっている。「そういう時が少なかった」「全くなかった」が3割弱もいる。男女別では、男子の場合に「いつもそうだった」の割合が高くなっている。学年別に見ると、小5で42.0%と最も高く、中3で31.3%と最も低くなっている（図4-9）。

また、「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」については、「いつもそうだった」「そういう時が多かった」と回答した割合が51.0%となっている。「全くなかった」と回答した割合が1割を超え、「そういう時が少なかった」を合わせると、5割弱の児童・生徒が興味のあることとの出会いが少なかったことに注目したい（図4-10）。

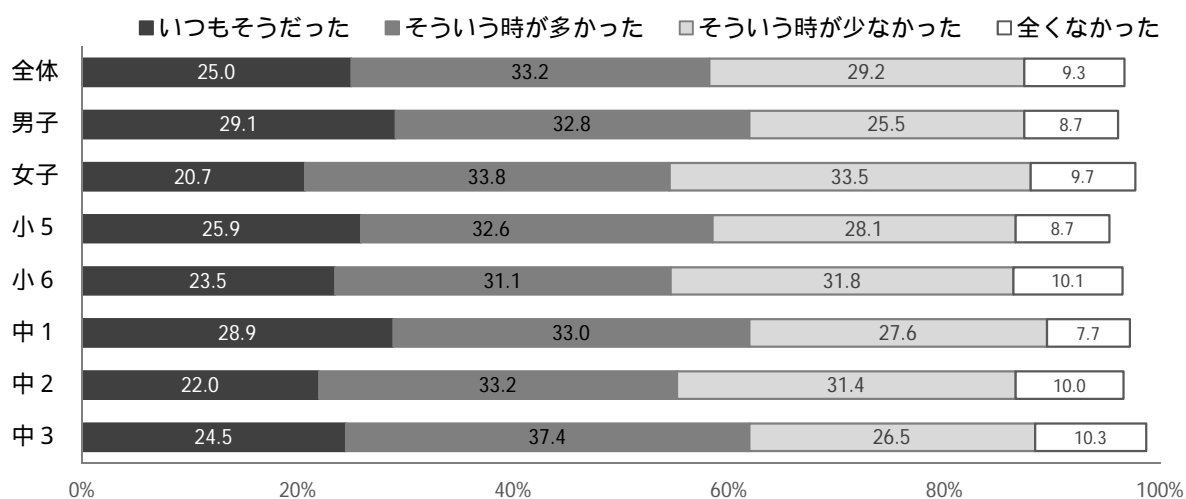


図4-8 [児童・生徒] 意欲的で活動的に過ごした

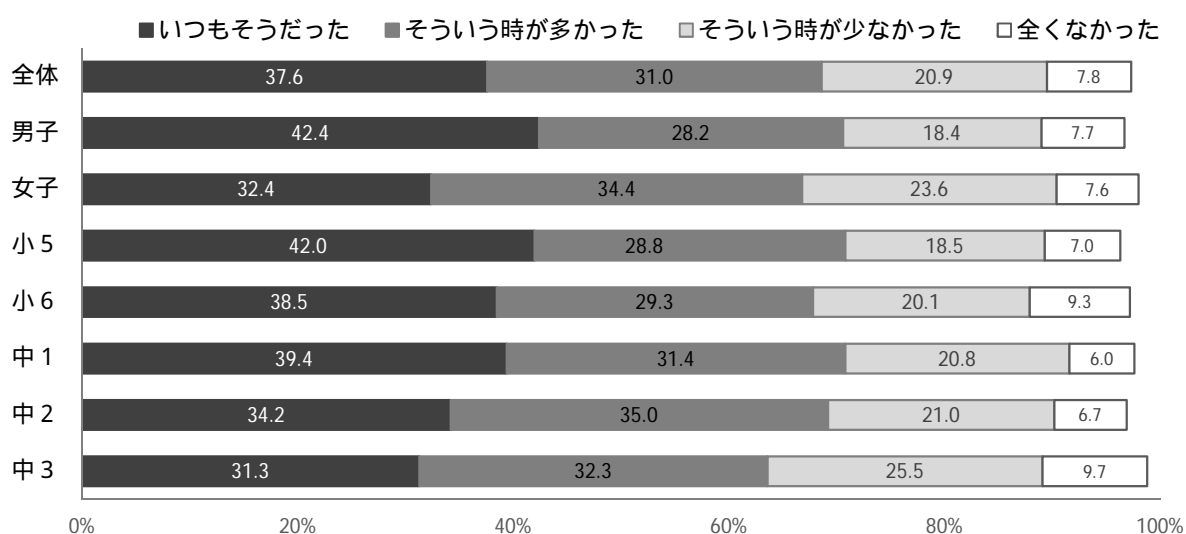


図4-9 [児童・生徒] ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

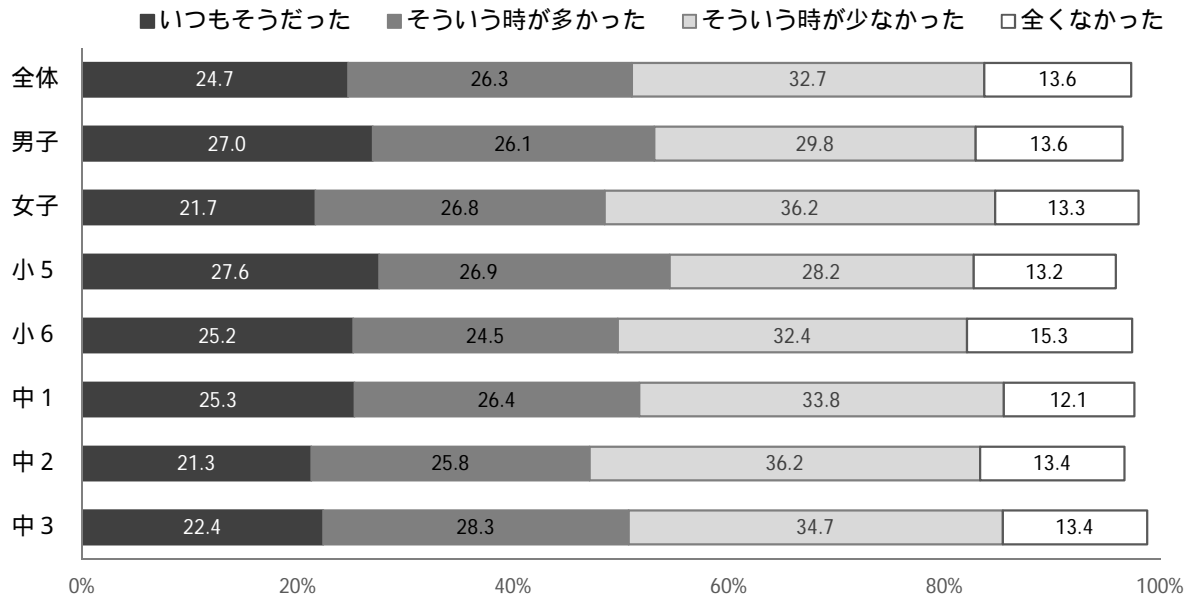


図 4-10 [児童・生徒] 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった